



2022 年度 卒業生アンケート 結果報告

郡山女子大学編（抜粋版）

目次

1. 調査の概要.....	1
2. 回答状況について.....	2
3. 卒業後の就職状況について.....	2
4. 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたもの.....	2
5. 大学時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか.....	3
6. 大学時代に身につけておくべきであると思うもの.....	3
7. 卒業生から在校生へのメッセージ.....	4

1. 調査の概要

・調査目的

卒業後3年が経過した卒業生へアンケートを送付し、定着状況や当時の就職支援について回答してもらい、今後の就職指導および学習指導の参考とする。

・調査対象

郡山女子大学の令和元年度卒業生

・アンケート期間

令和4年7月25日～令和4年9月16日

・送付数

大学102名（内訳：人間生活学科23名、食物栄養学科79名）

※17名が未達返却

・回収率

44名（51.8%） ※未達分を除いて回収率を算出

内訳：人間生活学科2名、食物栄養学科42名



2. 回答状況について

令和元年度就職決定者（2019年3月卒業）は102人おり、全員を対象として発送したが、返送があった人数は、44名となっている。

回答率は発送人数に対して51.8%（前年度7.3%）である。

3. 卒業後の就職状況について

回答があった44名に関して、卒業後就職した勤務先で働いているかと尋ねた。6割の学生が継続勤務を行っており、就職サポートは概ね良好である。

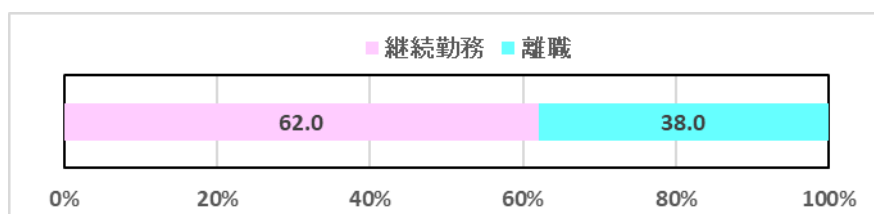


図 1. 勤務状況

4. 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたもの

就職活動後に自分に不足していたものを11項目で評価してもらった。項目は、「一般知識」、「専門知識・技術」、「取得資格」、「コミュニケーション能力」、「積極性・行動力」、「就職への意欲」、「就職情報量」、「パソコン操作」、「社会人としてのマナー」、「特にない」、「その他」とした。

結果は、「積極性・行動力」が特に高かった。おそらく、就職活動にもっと力を入れて取り組めばよかったと後悔している部分もあると思われる。次に「専門知識・技術」、「就職情報量」が高くなっており、職に就き知識・力量を求められる場面に遭遇し、必要性を感じた回答になっている。学生時代に思っていたことと、現実の職業に就き、事前にもっと準備することも可能だったと感じているのではないか。

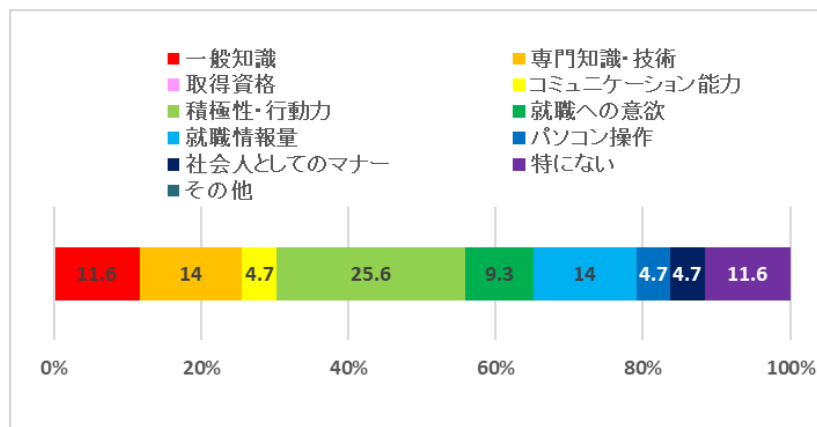


図 2. 就職活動を終えて自分に不足していた能力



5. 大学時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか

専門分野を活かした就職ができているかを確認するため、「大いに関連がある」、「やや関連がある」、「あまり関連がない」、「全く関連がない」の4択で評価してもらった。結果は、「関連がある」、「やや関連がある」あわせて約83%の学生が専門分野を生かした就職をしているという結果だった。

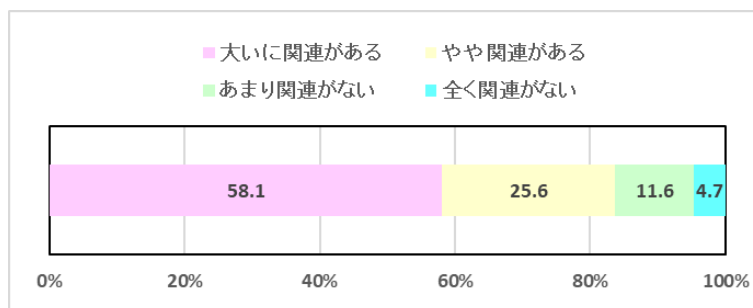


図3. 専門分野と仕事との関連

6. 大学時代に身につけておくべきであると思うもの

「大学・短大で学んだ専門知識」、「分析力に考察する力」、「新たな知識を素早く身につける力」、「プレッシャーの中で力を発揮すること」、「時間を有効に使う力」、「他の人と効率よく仕事をする力」、「他の人の知識や能力を結集する力」、「意図を明確に伝える力」、「リーダーシップ」、「パソコン技術」、「新たなアイデアや解決策を見つけ出す姿勢」、「文章能力」、「その他」に分けて確認した。

「他の人と効率よく仕事をする力」との回答が多く、就職し他部門と協力する機会も増え効率よく仕事をこなす必要性がでてきたことが挙げられる。次に「大学・短大で学んだ専門知識」が多く、学んだことを生かして就職する学生が多いことから納得のいく結果となった。他に「パソコン技術」が多く、実務を通して活用の必要性がでてきたものと思われる。出来れば、インターンシップ等を積極的に活用し、実際の仕事を体験し求められる能力や自分に欠けている能力に早期から気づき、在籍時に習得してほしい。

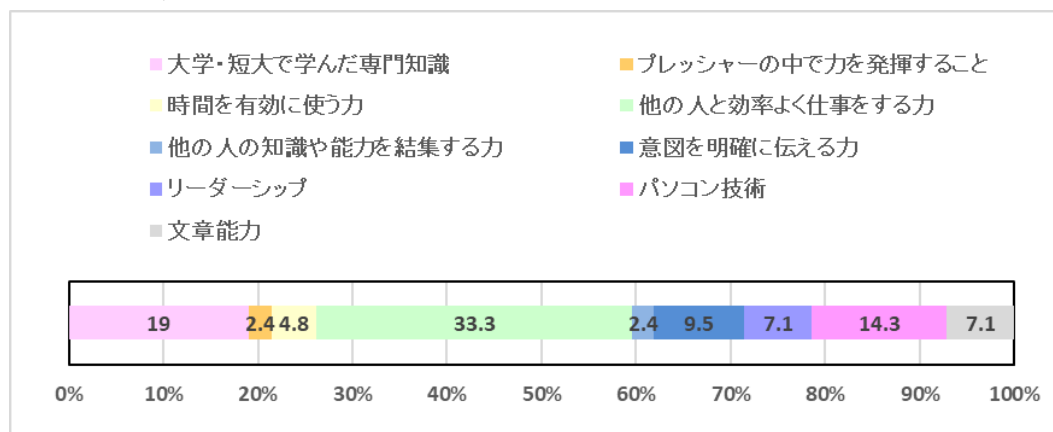


図5. 身につけておくべき力



7. 卒業生から在校生へのメッセージ

最後に卒業生より、在校生へのメッセージをいただいた。

スキル面では思っている以上に手広く、自分でなんでもやらなくてははいけなかったり、覚えたりすること、新たに勉強することが増えます。またスキルだけでなく、自己の内面を見つめ直さなければならないフェーズが必ず来ます。社会は自由ですが同等に責任が伴います。自分の意見が通らないのはまだ責任を負えるほど器が大きいからです。負えるようになると、大変だけど自分のやりたいことが出来るようになって楽しくなってきます。そして辛いときは大学時代に出来た仲間となら必ず乗り越えることが出来ます。一人ではないということを忘れないでください。

今は色々と大変ではありますが、目標を持ったりやりたい事を見つけたり見出すことが出来れば、どんな事があっても続けられると思います。今やれる事を最大限時間を使って置いて置くと思います。

仕事に就いたら全て出来るものとして扱われることがあるので、一般常識、事務処理等はある程度身に付け、勤務先によっては1人職で着任早々指示を出す立場になると思うので、専門知識はもちろんですが、判断力・伝え方を身につけておくと思えます。

私は管理栄養士の資格も活かされ、調理も出来る会社に就職しました。そこでいいの？と周りから言われましたが、今は福利厚生(手当・賞与等)や研修(1～3年目)、個人面談など人に合わせて寄り添ってくださる会社に就職して良かったと思っています。自分のやりたいことを明確にすることが、大切ななと感じます。試験勉強との両立で精神的にも大変だと思いますが、就職活動頑張ってください。

情報収集は徹底的に。受かりやすいところにとりあえずと思って就職すると後悔するかもしれません。

大学生活を謳歌するのももちろん大切だけど、後悔しないように全力で勉強すべきかな。あとあと後悔するから

仕事についてからも、学ぶことは続いていきます。私は大学の勉強とは少し違う感じがします。日々反省と改善の繰り返しです。勉強と同じ。自分の頑張りは自分にかえってきます。また、自分の体・メンタルなどはとても大切にしてほしい。壊れる前に自分で気づいて休んだりリフレッシュしてほしい。健康が一番。プライベートは思い切り遊んだり、好きなことどんどんしてほしい。それが仕事の励みになるかも。自分を信じて前に進んでほしい。